

子どもの心の診療ネットワーク事業について

～発達障害児、被虐待児、災害後の子どもの心に寄り添うために～

小枝達也

2022/11/10 国立成育医療研究センター こころの診療部
子どもの心の診療ネットワーク事業中央拠点病院

事業の変遷

平成17年3月-平成19年3月（終了）

「子どもの心の診療医」の養成に関する検討会報告書

- ・子どもの心の診療を行う医師を3段階に分け、それぞれの養成を担う団体、到達目標と養成プログラムの例を提示。子どもの心の診療を行う医師の層を厚くする。
- ・各都道府県において少なくとも1か所は、こうした乳幼児期から青年期までの子どもの心の診療及び研修を専門的に行える中心的な役割を果たす医療機関（子どもの育ちに配慮した入院治療を行う専門病棟をもつことが望ましい）が必要である。
- ・保健、医療、福祉、教育など各分野の関連専門機関が連携して子どもの心の問題に取り組めるような連携体制を確立し、質の高い研修を行うためには、地域に高度に専門化された入院治療機能を持つ中核的な医療機関を整備し、診療システムを確立する必要がある。



平成20年4月 厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課
「**子どもの心の診療拠点病院事業**」 3年間モデル事業開始
(平成23年度末11都府県)

平成23年4月 厚生労働省雇用均等児童家庭局母子保健課
「**子どもの心の診療ネットワーク事業**」一般事業化し開始

「子どもの心の診療医」の養成に関する検討会報告書

厚生労働省母子保健課（2007/3/30）

こころの問題を持った子どもと家族



1. 一般の小児科医・精神科医

2. 子どもの心の診療を定期的に行っている小児科医・精神科医

3. 子どもの心の診療に専門的にかかわる医師

事業の変遷

「子どもの心の診療拠点病院事業」 3年間モデル事業開始

- 平成20年4月 開始時/ 9都府県 参画
東京都、神奈川県、石川県、静岡県、三重県、大阪府、
鳥取県、岡山県、長崎県
- 平成22年度 終了時/ 11都府県 参画
東京都、神奈川県、石川県、静岡県、三重県、大阪府
鳥取県、岡山県、長崎県、山梨県、佐賀県

事業の変遷

「子どもの心の診療ネットワーク事業」 一般事業化

- 平成23年4月 開始時/ 10都府県 参画
東京都、神奈川県、石川県、静岡県、三重県

虐待への対応
発達障害への対応
災害後の心の問題への対応

- 平成24年4月 要綱改正
東日本大震災を受けて事業の要綱に
「災害時に、被災した子どもの心のケアを行う体制をつくる」盛り込まれた。

- 平成24年度 診療報酬改定
事業および関係者からの働きかけにより児童/思春期精神科入院医療管理料が新設された。
小児病院、精神病院それぞれ適切な評価になるよう2911点/1日となった。
20歳未満精神疾患を有する患者の病棟または病室単位で算定できる通院在宅精神医療は、
初診から起算1年以内であったが、児童/思春期精神科入院管理料の届け出の医療機関は、
16歳未満の患者に対し2年以内に延長された。

- 平成27年度 厚生労働省 3課による連携体制の開始
母子保健課、障害保健福祉部精神・障害保健課、障害福祉課発達障害者支援室
による協力体制

- 平成29年度 要綱改正 指定都市も参画可能となる

主な取り組み

Major Initiatives



妊娠と薬情報センター



妊娠・授乳中の服薬に関する情報機関です。専門の医師・薬剤師が、あなたのご相談に応じます。



子どもの心の診療ネットワーク事業



拠点病院を中心に、地域と連携して子どもたちの心のケアを行っています。



小児がん事業（小児がんセンター・小児がん拠点病院・中央機関）



国立成育医療研究センターは、小児がんセンターを中心として、日本の小児がん診療をより良いものにするべく努力しております。



AIホスピタル



遺伝子細胞治療推進センター



みんなの **こえ**で
みんなを **げんき**に！
● コロナ×こども本部



コロナ×こども本部



子どもの心の診療ネットワーク事業

<https://kokoro.ncchd.go.jp>

子どもの心の診療ネットワーク事業

The Child Mental Health Network Development Program

文字サイズ 小 中 大

サイト内検索

TOP

事業について

一般の方へ

子どものみなさんへ

医療関係者・支援者の
方へ

災害と子どもの心



TOP

目次

▶ TOP

▶ 事業について

▶ 一般の方へ

▶ 子どものみなさんへ

▶ 医療関係者・支援者の
方へ

▶ 災害と子どもの心

『子どもの心の診療ネットワーク事業』では、拠点病院を中心に行政や機関の枠を超えて地域のさまざまな機関が手をつなぎ、子どもの心の健康をネットワークでサポートしています。

[子どもの心の診療機関マップ](#)

[拠点病院・機関リスト](#)

[「子どもの心の診療機関マップ」リンク用バナー](#)

お知らせ

[研修情報一覧はこちら](#)

目次

▶ TOP

▶ 事業について

▶ 一般の方へ

▶ 子どものみなさんへ

▶ 医療関係者・支援者の方へ

▶ 災害と子どもの心

事業について

▶ 事業について

『子どもの心の診療ネットワーク事業』では、拠点病院を中心に行政や機関の枠を超えて地域のさまざまな機関が手をつなぎ、子どもの心の健康をネットワークでサポートしています。

▶ 事業概要・指標調査結果など

子どもの心の診療ネットワーク事業に関する指標調査結果や参画している自治体・拠点病院・機関の事業概要などを紹介いたします。

▶ 事業参加の拠点病院・機関リスト

子どもの心の診療ネットワーク事業に参加している全国の自治体・拠点病院・機関をご紹介します。

▶ 事業実施に関する有識者会議資料

▶ 子どもの心の診療機関マップ

事業参画またはオブザーバー参加で当該マップ掲載にご協力いただける自治体の施設情報を検索できるページを公開しております。子どもの心について診察できる医療機関や療育施設などの情報などを掲載し、子どもの心の専門領域・診療内容から検索いただけます。

【ご留意事項】

- 掲載施設は、掲載許可を頂けた施設であり、当サイトが推薦する施設ではございませんのでご了承ください。
- 適切、正確な情報掲載に努めておりますが、内容を完全に保証するものではありませんので、予約や受診・相談の方法について、各機関（施設）に必ず電話にてお問い合わせください。

[子どもの心の診療機関マップ](#) [リンク用バナー](#)

事業参画自治体の変遷

	2008 モデル事業	2009	2010	2011 一般事業化	2012	2013	2014	2015	2016
都道府県	9	11	11	10	14	15	16	19	18

	2017	2018	2019	2020	2021	2022
都道府県	18	18	19	20	21	20
政令市	1	1	1	1	1	1

目次
▶ TOP
▶ 事業について
▶ 一般の方△
▶ 子どものみなさん△
▶ 医療関係者・支援者の方△
▶ 災害と子どもの心

事業概要・指標調査結果など

子どもの心の診療ネットワーク事業 指標調査結果

参画自治体および拠点病院機関が毎年度提出している指標調査票を集計した結果をご紹介します。

- [2020年度（令和2年度）](#) □

※指標調査結果のデータやグラフをご使用になる際は事務局までご一報をお願い申し上げます。

子どもの心の診療ネットワーク事業 好事例

参画自治体および拠点病院機関の好事例についてご紹介いたします。

- 初診待機期間の短縮に関する好事例

近年、児童精神に関する受診の待機期間が長いことが課題となっております。事業内にて初診の待機期間の短縮につながった好事例についてご紹介させていただきます。下記をご参照ください。

[東京都の事業成功例～東京都立小児総合医療センター～](#) □

子どもの心の診療ネットワーク事業 事業概要集

本事業に参加している自治体および拠点病院・機関の事業の概要をご紹介します。

①事業概要集 全体版

- [事業概要集 全体H23-H27年度版](#) □
- [事業概要集 全体H28-H30年度版](#) □

②自治体および拠点病院・機関ごとの分割版

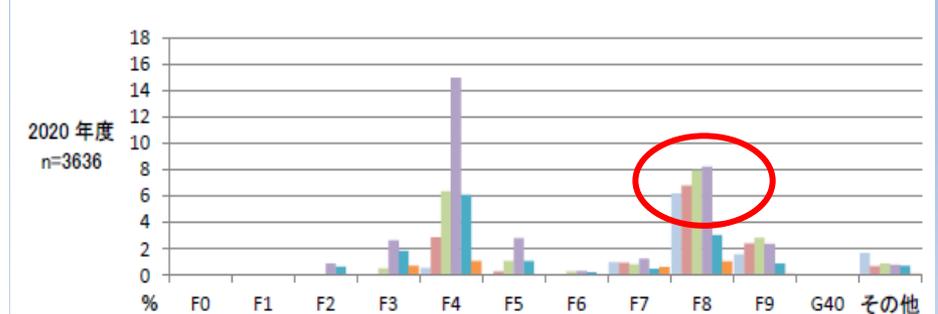
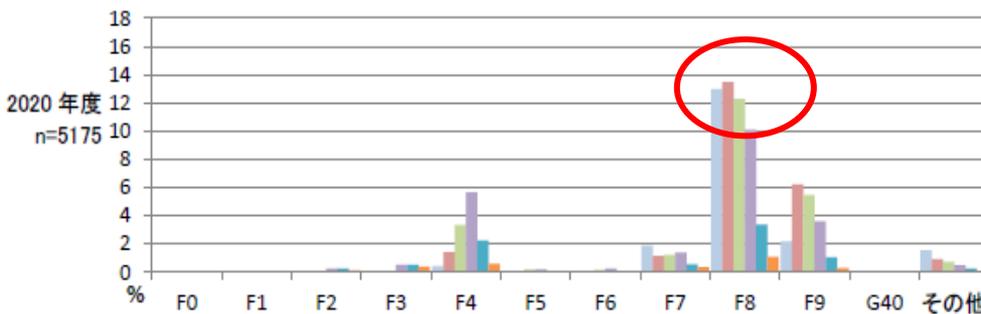
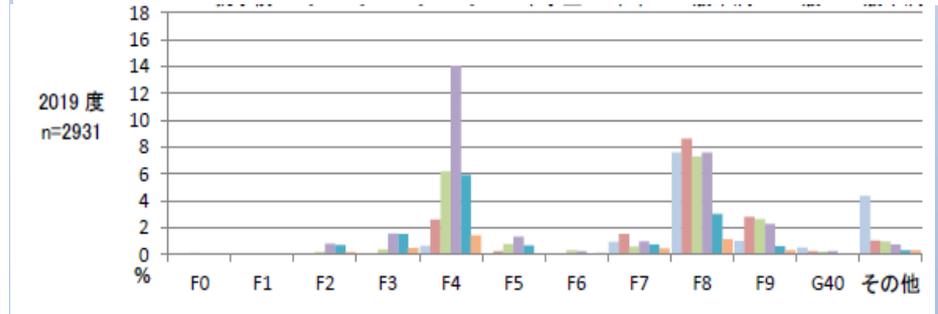
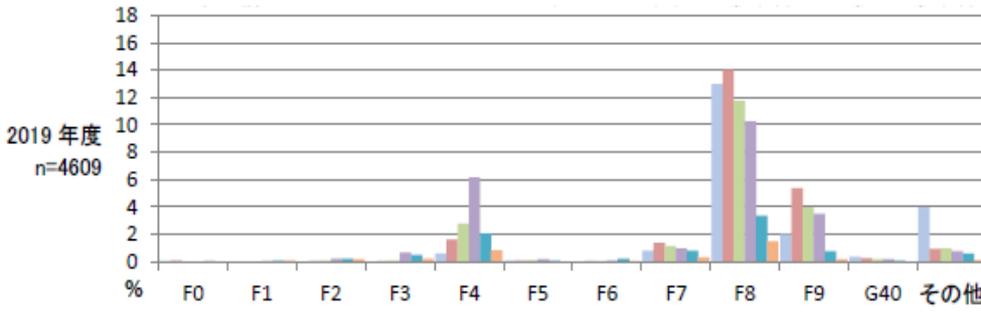
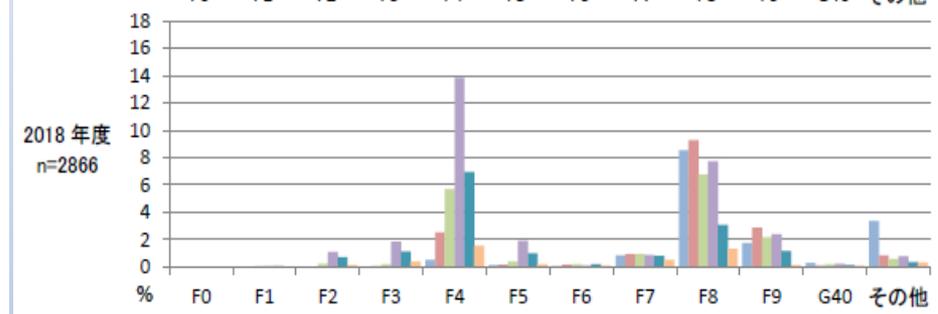
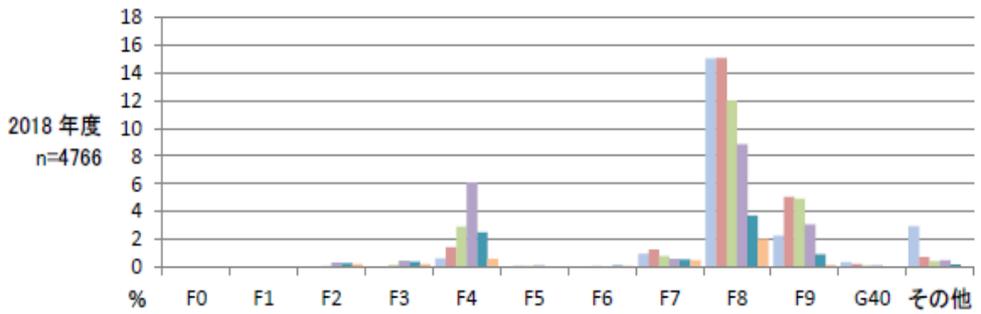
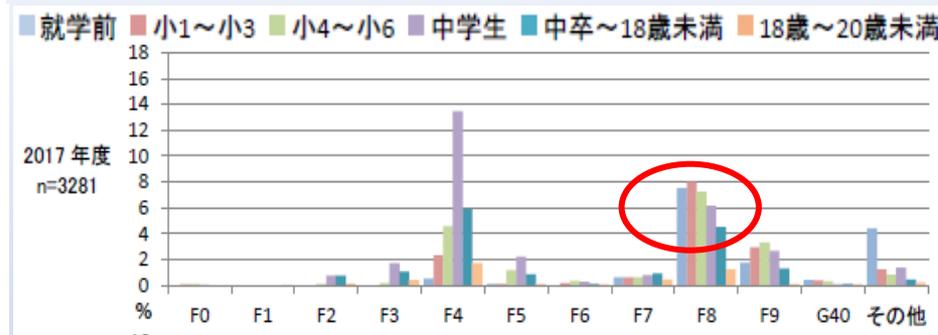
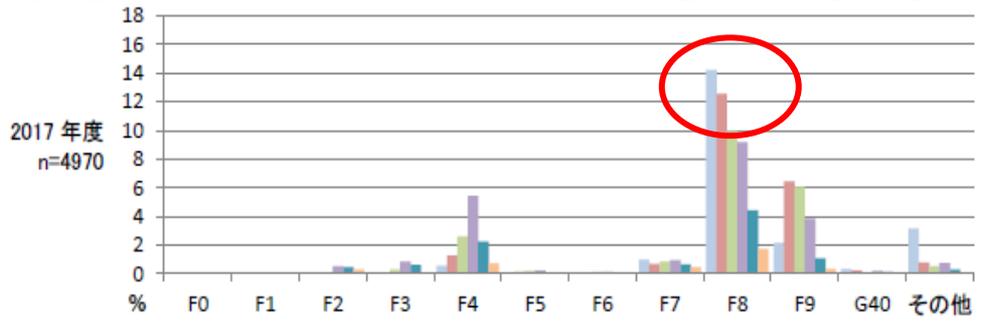
(子どもの心の診療ネットワーク事業 2020年度指標調査結果)

外来初診男児

外来初診女児

■ 就学前 ■ 小1~小3 ■ 小4~小6 ■ 中学生 ■ 中卒~18歳未満 ■ 18歳~20歳未満

■ 就学前 ■ 小1~小3 ■ 小4~小6 ■ 中学生 ■ 中卒~18歳未満 ■ 18歳~20歳未満



目次

[▶ TOP](#)

[▶ 事業について](#)

[▶ 一般の方へ](#)

[▶ 子どものみなさんへ](#)

[▶ 医療関係者・支援者の方へ](#)

[▶ 災害と子どもの心](#)

事業概要・指標調査結果など

子どもの心の診療ネットワーク事業 指標調査結果

参画自治体および拠点病院機関が毎年度提出している指標調査票を集計した結果をご紹介します。

- [2020年度（令和2年度）](#)

※指標調査結果のデータやグラフをご使用になる際は事務局までご一報をお願い申し上げます。

子どもの心の診療ネットワーク事業 好事例

参画自治体および拠点病院機関の好事例についてご紹介します。

- 初診待機期間の短縮に関する好事例

近年、児童精神に関する受診の待機期間が長いことが課題となっております。

事業内にて初診の待機期間の短縮につながった好事例についてご紹介させていただきます。下記をご参照ください。

[東京都の事業成功例～東京都立小児総合医療センター～](#)

子どもの心の診療ネットワーク事業 事業概要集

本事業に参加している自治体および拠点病院・機関の事業の概要をご紹介します。

①事業概要集 全体版

- [事業概要集 全体H23-H27年度版](#)
- [事業概要集 全体H28-H30年度版](#)

②自治体および拠点病院・機関ごとの分割版

東京都の事業成功例 ～東京都立小児総合医療センター～

◆事業の成功例 初診待機期間の短縮について

【1】取組み前の課題や問題点

- ①2010年3月 精神科単科病院（梅ヶ丘病院）から小児総合病院の児童思春期精神科へ診療申し込みの心理的ハードルが下がって、受診希望が増加
- ②梅ヶ丘病院時代の予約方法は、家族が予約センターに電話し、予約を取ってから「診療情報提供書」を用意する方法であった。開設数年後に、「診療情報提供書を取得してから、電話申し込み」に変更をしたが、それでも、受診希望が殺到。
「6か月先の予約枠をオープンすると、数日で電話が殺到して埋まってしまう」
「(Hotlineを除き)患者の重症度に関わらず、一律6か月待ち」
- ③初診キャンセル数が多い
- ④緊急受診(Hotline)システム(入院の必要性の高い症例につき、かかりつけ医からの直接電話により予約取得)があったが、上記の6か月を待ちきれない患者が、Hotlineに入電し、本来の目的である「入院が必要な重症例」をとる枠がなくなってしまった

【2】取組み時苦慮した点

- ①既に6か月分の初診が埋まっている状態からのスタート
- ②「全ての患者さんを診療します」→「入院の必要性が高い方から優先的に診療します」という明確化の許可を院内幹部から取り付けるまでに苦労した
- ③新しいトリアージシステムを地域医療機関にご理解いただくことに時間を要した

【3】取組みによる成功内容

- ①申し込み方法を変更（2015年8月～）
家族による申込書・紹介状を送付していただき、その内容に応じて、重症・中等症・軽症に分類
- ②「入院の必要性が高い重症の患者さんから優先的に診療します」と病院ホームページに掲載
- ③軽症の患者については待機期間が長くなることを説明し「子供の心診療機関マップ」を紹介し、他院に誘導
- ④待機期間の大幅な短縮
従来：（Hotlineを除き）重症度に関わらず6か月待ち
⇒重症ケース：1週間～3週間
中等症ケース：1か月～2か月
軽症ケース：6か月
- ⑤初診キャンセルの減少（キャンセルが出た場合は、空いた枠を重症例の診療にあてた）
- ⑥緊急受診（Hotline）：本来の目的である「入院の必要性が高い症例」に専念することができるようになった

目次

[▶ TOP](#)

[▶ 事業について](#)

[▶ 一般の方へ](#)

[▶ 子どものみなさんへ](#)

[▶ 医療関係者・支援者の方へ](#)

[▶ 災害と子どもの心](#)

事業概要・指標調査結果など

子どもの心の診療ネットワーク事業 指標調査結果

参画自治体および拠点病院機関が毎年度提出している指標調査票を集計した結果をご紹介します。

- [2020年度（令和2年度）](#)

※指標調査結果のデータやグラフをご使用になる際は事務局までご一報をお願い申し上げます。

子どもの心の診療ネットワーク事業 好事例

参画自治体および拠点病院機関の好事例についてご紹介いたします。

- 初診待機期間の短縮に関する好事例

近年、児童精神に関する受診の待機期間が長いことが課題となっております。

事業内にて初診の待機期間の短縮につながった好事例についてご紹介させていただきます。下記をご参照ください。

[東京都の事業成功例～東京都立小児総合医療センター～](#)

子どもの心の診療ネットワーク事業 事業概要集

本事業に参加している自治体および拠点病院・機関の事業の概要をご紹介します。

①事業概要集 全体版

- [事業概要集 全体H23-H27年度版](#)
- [事業概要集 全体H28-H30年度版](#)

②自治体および拠点病院・機関ごとの分割版

[東京都の事業成功例～東京都立小児総合医療センター～](#) 

子どもの心の診療ネットワーク事業 事業概要集

本事業に参加している自治体および拠点病院・機関の事業の概要をご紹介します。

①事業概要集 全体版

- [事業概要集 全体H23-H27年度版](#) 
- [事業概要集 全体H28-H30年度版](#) 

②自治体および拠点病院・機関ごとの分割版

- 札幌市
 - [H23-H27年度版（オブザーバー参加時）](#) 
 - [H28-H30年度版](#) 
- 岩手県
 - [H28-H30年度版](#) 
- 東京都
 - [H23-H27年度版](#) 
 - [H28-H30年度版](#) 
- 神奈川県
 - [H23-H27年度版](#) 
 - [H28-H30年度版\(H29年度事業終了\)](#) 
- 石川県
 - [H23-H27年度版](#) 
 - [H28-H30年度版](#) 
- 山梨県

中央拠点病院の役割

- **子どもの心の診療を担う人材育成や
各拠点病院に対する技術的支援等を行う。**

【事業内容】

- ①各拠点病院に対する技術的助言、連携会議の開催
- ②自治体間格差の解消と医療水準の底上げの推進
- ③強度の問題行動事例やPTSDへの対応などのための各拠点病院等への専門家の派遣
- ④専門医や関係専門職の養成
- ⑤基盤的研究の実施、各拠点病院における調査結果の高度な研究・解析
- ⑥国内外の最新の医学的知見の収集、情報発信

中央拠点病院の役割 - 実施内容 -

①各拠点病院に対する技術的助言、連携会議の開催

◆連絡会議 年2回開催

- ・各自治体・拠点病院間の情報共有を図る
- ・テーマ毎に数か所が発表、ディスカッションを実施

被災地支援

医療/福祉/教育/保健との連携

診療医育成、

子どもへの告知・説明と自立・移行支援

コンサルテーションリエゾンの実際、

家族支援など

中央拠点病院の役割 - 実施内容 -

②自治体間格差の解消と医療水準の底上げの推進

- ・指標調査の実施
- ・診療医育成の状況確認
- ・事業参加の自治体および
拠点病院の事業概要冊子作成
- ・子どもの心の診療機関

マップ検索システムの構築

東京都 129、神奈川県 70、
静岡県 22、石川県 52、
大阪府 65、島根県 41、
鳥取県 24、沖縄県 50、
高知県 42、福岡県 64、兵庫県 26

合計 11都府県/585機関 登録 (2022.10月現在)



目次

▶ TOP

▶ 事業について

▶ 一般の方へ

▶ 子どものみなさんへ

▶ 医療関係者・支援者の方へ

▶ 災害と子どもの心

子どもの心の診療機関マップ

- 掲載施設は、掲載許可をいただいた施設であり、当サイトが推薦する施設ではございませんのでご了承ください。
- 適切、正確な情報掲載に努めておりますが、内容を完全に保証するものではございませんので、予約や受診・相談の方法について、各機関（施設）に必ず電話にてお問い合わせください。
- 施設が当サイトに登録されている都道府県・区市町村のみが下記の選択項目に表示されます。

ご希望の地域、診療内容をお選びください。

施設名	
<input type="text"/>	
都道府県・区市町村	
沖縄県	▼ 全て ▼
+	
診療内容・専門領域	
<input type="checkbox"/>	睡眠の問題 (夜驚、不眠など)
<input type="checkbox"/>	食行動の問題 (拒食、過食など)
<input type="checkbox"/>	心身の問題 (反復性腹痛、チック、抜毛など)
<input type="checkbox"/>	不安、ストレスの問題 (不安、強迫、緘黙、虐待、トラウマなど)
<input type="checkbox"/>	非社会的行動の問題 (不登校、ひきこもりなど)
<input type="checkbox"/>	友人関係 (人間関係やいじめ)
<input type="checkbox"/>	発達の問題 (こだわり、不注意、多動など)
<input type="checkbox"/>	素行の問題



検索結果: 50件 1~10件を表示

最大表示件数 10件



中央拠点病院の役割 - 実施内容 -



- ③ 強度の問題行動事例やPTSDへの対応などのための各拠点病院等への専門家の派遣
- 研究にて東日本大震災へ子どもの心の診療支援として医師、心理士が派遣を実施。
 - 東日本大震災当時、要綱では災害対応が含まれていなかったため派遣できなかった。そのため、要綱が改訂され、事業内容に災害支援が追記された。
 - PTSDのケアのための冊子を有事の際に自治体や各拠点病院へ配布。
現地の保育園、幼稚園、小学校などに配布されている

一般/保護者向け



専門職向け



冊子の送付実績

		こことからだ のケア冊子	子どものトラウマ 診療ガイドライン	
2016年4月	熊本地震	熊本県	1140	15
		大分県	20	10
2016年10月	鳥取地震	鳥取県	120	19
2017年7月	九州北部豪雨	福岡県	20	6
		大分県	20	6
2018年4月	島根県西部地震		20	10
2018年7月	大阪北部地震		160	110
2018年7月	西日本豪雨災害	岡山県	30	15
		広島県	590	15
		高知県	10	5
		岐阜県	10	5
2018年7月	富山県発砲事件		20	10
2018年9月	北海道胆振東部地震		830	138
2019年10月	台風15号19号災害	千葉県	5	3
		長野県	750	492
		静岡県	10	6
		三重県	10	6
		栃木県	435	33
		岩手県	10	6
		東京都	10	6
		山梨県	25	15
		埼玉県	6	6
		群馬県	6	6
		茨城県	9	9
		福島県	6	6
		宮城県	9	9
		合計		

目次

[▶ TOP](#)

[▶ 事業について](#)

[▶ 一般の方へ](#)

[▶ 子どものみなさんへ](#)

[▶ 医療関係者・支援者の方へ](#)

[▶ 災害と子どもの心](#)

災害と子どもの心

ご家族へ

- [災害後の中長期的な母子保健対策マニュアル（当事者・一般向け）](#) 
- [災害後の中長期的な母子保健対策パンフレット（当事者・一般向け）](#) 
- [ご家族の皆様へ](#) 
- [障害をお持ちのお子さんのために](#) 
- [大切な方をなくしたお子さんの反応とケア](#) 
- [こことからだのケア](#) 

支援者・専門家へ

1. 災害心理教育

※お使いになる前に、“「災害心理教育」をお使いになる方へ”を必ずお読みください

- [「災害心理教育」をお使いになる方へ](#)  ※ご使用前に必ずお読み下さい
- [災害心理教育①\(事実を伝える\)](#) 
- [災害心理教育②\(気持ちの成り立ち\)](#) 
- [災害心理教育③\(リラクゼーション\)](#) 
- [親を亡くした子どもへのケア（支援者向け）](#) 
- [子どもトラウマ診療ガイドライン\(専門家向け\)](#) 
- [こことからだのケア](#) 
- [災害後の中長期的な母子保健対策マニュアル（専門職向け）](#) 

2. 災害マネジメントについて

[災害時の子どもに対する支援のあり方（災害時の子どもに対する支援のあり方）](#)

災害後の中長期的な
母子保健対策
(当事者／一般向け)

パンフレット





フリックワッペンがおすすめ
です。

30

保健衛生面

避難生活に必要な物資の準備 乳幼児

想定される問題

避難所では、赤ちゃんの月齢や個々の状況に配慮した備蓄が十分にあるとは限りません。特に、小さなお子さんが必要となる物資（食品、ミルク、衣類、おむつ、衛生材料など）が確実に入手できるには時間がかかることがあります。

予防策

赤ちゃんの月齢に合わせた、以下のような備えを日頃から準備しておきましょう。

乳幼児のための備え

- 年齢に合わせた子どもの食料品：ミルクセット（ステックタイプ、液体ミルク、哺乳瓶、紙コップ）、離乳食（アレルギー対応）、おやつ（賞味期限の長いもの）、パック飲料、飲料水（軟水）、使い慣れたフォーク、スプーン、マグカップ、ラップ、消毒用品など
- 生活用品：紙オムツ、おしり拭き（赤ちゃん用は低刺激で大人の体を拭くことにも役立つ）、バスタオル（数枚、保温、敷マット代り、授乳ケープなど代用できる）、おもちゃ（子どものお気に入りの使い慣れたもの、特に就寝時に必要なもの）、着替え、スタイ、ガーゼ、スリングなど

- 賞味期限のある食品は定期的チェックをする習慣をつけ、期限の近いものは日常の生活で使用し、新しいものを補充しておきましょう。



31

食生活・栄養面

落ち着いて授乳・生活できない



想定される問題

大事なことはママと赤ちゃんが疲れすぎないことです。しかし、避難生活は母子に快適な環境とは言えません。

- ・授乳スペースがない。着替えるスペースがない。
- ・子どもの泣き声に気を遣う。
- ・赤ちゃん用の安全な水が手に入らない。
- ・哺乳瓶の消毒ができない。周りの理解が得られない。

しかたなく、車中や安全でない自宅で生活をする場合もあります。

予防策



哺乳瓶の消毒が難しい場合、衛生的な水を使ってよく洗う方法や紙コップで代用が可能です。育児スペース、トイレや虫歯予防の歯磨きなど困っていることがあれば伝えましょう。母子避難所などが設置される自治体もありますので、情報をもらえるように伝えておきましょう。



仮設住宅に入居したら、子どもや自分にあう食事を時短レシピなどでつくり、日常へ戻ること、美味しく食を楽しむことを優先しましょう。

用語

福祉避難所：乳幼児などの特別な配慮が必要な避難者を受け入れ、支援してくれる避難所。

食生活・栄養面



[TOP](#)[事業について](#)[一般の方へ](#)[子どもみなさんへ](#)[医療関係者・支援者の方へ](#)[災害と子どもの心](#)[TOP > 医療関係者・支援者の方へ](#)

目次

[▶ TOP](#)[▶ 事業について](#)[▶ 一般の方へ](#)[▶ 子どもみなさんへ](#)[▶ 医療関係者・支援者の方へ](#)[▶ 災害と子どもの心](#)

医療関係者・支援者の方へ

▶ 子どもの心の問題・診療に関するマニュアル・テキスト

子どもの心の診療に関連するガイドラインやマニュアル、手引きなどを集めました。

▶ 専門家向けリンク集

子どもの心に関する専門家向けのサイトを紹介しています。

▶ 中央拠点病院主催の研修会 講演集

▶ 子どもの心の問題・診療に関する研究・報告書

子どもの心の問題・診療に関する研究・報告書などの資料を掲載しております。

▶ 支援者のメンタルヘルスに関するサイト

被災地で対人援助に携わるすべての方たちのためのサイト「支援する“思い”を“重い”に変えないために」

▶ 子ども虐待に関する研究・報告書

子ども虐待重大事例検証に関する手引きを掲載しています。

中央拠点病院の役割 - 実施内容 -

④ 専門医や関係専門職の養成

- ・中央拠点病院主催の研修会 年1回 開催
- ・ディスレクシアワークショップの開催
- ・こころの診療部における研修制度
(研修希望医師と代替医師派遣システム)

2019年 研修会

子どもの心の諸問題と依存	メディアリテラシー:コホート調査から見えてきたこと	お茶の水女子大 菅原ますみ
	ゲーム依存症	久里浜病院 樋口 進
	薬物依存の病態メカニズム	神戸大学 曾良一郎
	人間はなぜ依存症になるのか 一回復支援のヒント	国立精神神経医療センター 松本俊彦

2022年 研修会

思春期のうつへの アウトリーチ	思春期うつの診たてと対応	駒木野病院 笠原麻里
	子どもの抑うつ症状のスクリーニング尺度とPHQ-Aを用いた支援体制構築	明治学院大学 足立匡基
	自殺予防のための心身不調アセスメントツールRAMPSの実践	東京大学 北川裕子
	KOKOROBO (オンラインメンタルヘルスケアシステム) について	国立精神・神経医療センター 藤井 猛

ディスレクシア ワークショップ

ディスレクシアワークショップ 経年データ

	参加者数	職種											
		医師	心理士(臨床心理士、公認心理師、SC、カウンセラー)	言語聴覚士	作業療法士	教員	看護師	保健師	保育士	社会福祉士 精神保健福祉士 相談員含む	介護士	支援員 指導員	その他
2016年度合計 ※5回開催/各回定員30名	124	18	40	17	1	25	0	1	1	2	1	8	10
2017年度合計 ※4回開催/各回定員30名	113	10	33	22	4	15	7	1	1	2	1	5	12
2018年度合計 ※2回開催/各回定員45名	74	21	19	11	0	16	1	0	0	0	0	5	1
2019年度合計 ※2回開催/各回定員45名 ※世田谷区養護教員対象 1回開催/定員76名	144	25	23	8	0	77	1	0	0	5	0	3	2
合計	455	74	115	58	5	133	9	2	2	9	2	21	25

こころの診療部における 研修制度について

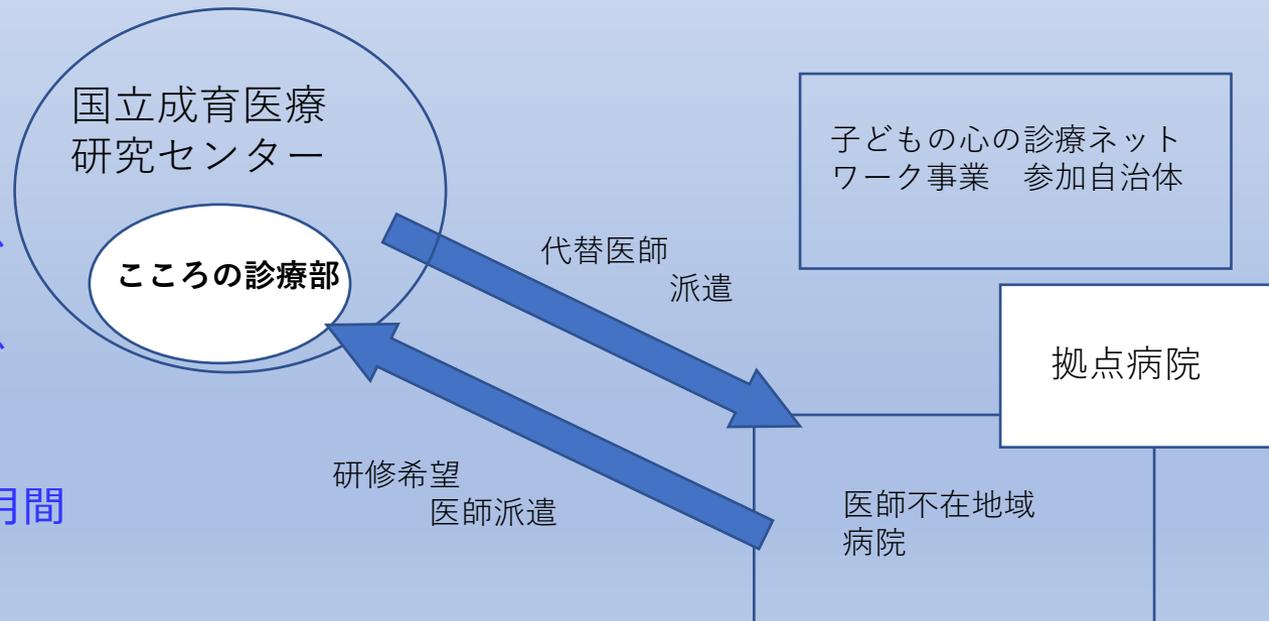
- 子どもの心の診療の均てん化推進と都道府県における医師育成の支援策として、国立成育医療研究センター こころの診療部にて小児科医研修生を1カ月間受け入れる（1地域1名、定員2名まで）。
- 研修期間中の派遣元医療機関の医師の不在を補うために、国立成育医療研究センターより小児科医（レジデント・フェロー）を代替医師として同期間派遣する。

【研修内容】

- * 児童精神科領域一般（神経発達症、精神遅滞、神経症、心的外傷ストレス症、身体表現性障害、解離性障害、児童虐待対応、妊産婦・保護者のメンタルヘルス、慢性疾患のリエゾンなど）

【実施期間】

2019年10月～12月の間の1カ月間
（以後、毎年同時期実施予定）



2023 年度

国立成育医療研究センター こころの診療部
子どもの心の診療の均てん化推進研修

子どもの心の診療 交換研修のご案内



子どもの心の診療の均てん化推進と都道府県による医師育成への支援策として、国立成育医療研究センターこころの診療部では、交換研修を実施しております。

研修中、在籍院における医師の不在を補うため、国立成育医療研究センターより小児科医(レジデント・フェロー)を代替医師として交換派遣いたします。

※代替医師が必要ない場合でも研修可能です。

受入機関: 国立成育医療研究センター こころの診療部 (東京都世田谷区大蔵2-10-1)

対 象: 小児科 (卒業年度問わず)

定 員: 2名

研修目標: 地元病院へ帰院後に子どもの心の診療ができるようになること

研修内容: 発達障害の診断と治療、小児心身症の診断と治療、周産期のメンタルヘルス
慢性疾患のリエゾン、多職種による児童虐待対応
主治医として実際の診療をしていただきます

実施期間: 2023年10月～12月の間の1ヵ月程度 (毎年実施予定)

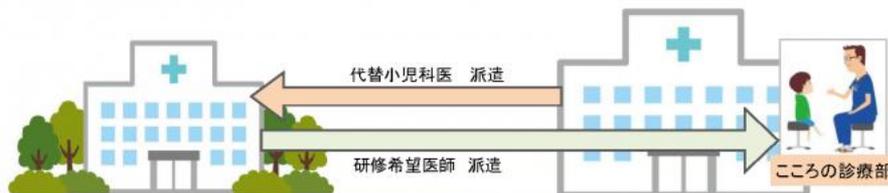
申込締切: 2022年11月末

※研修費用や宿泊先などについては、個別にご相談させていただきます。

※COVID-19などの影響により中止となる場合がございます。

医師不在地域の医療機関

国立成育医療研究センター



研修参加医師コメント

充実したカリキュラムを設定いただき、更にカスタマイズの相談にも快く対応いただき、びっくりするほど豊富で充実した研修となりました。自施設に戻ってすぐ数人の診療に経験が適用でき、院内他部門・地域行政との共働にも役立ち、患者様からの信頼が向上したと感われています。一人医長の立場に関わらず、長期日程で本格研修の機会をいただき大変感謝しております。

小児科医 20年以上、男性

発達障害等に対する構造化された診療、様々な困り感・ニーズを抱えた方々に対する診療の根幹となる考え方など、大変勉強になりました。子どもの心に関わる問題を改善させるヒントが沢山溢れている研修でした。

小児科後期研修医 2年目、男性

お問い合わせ

子どもの心の診療ネットワーク事業 中央拠点病院
国立成育医療研究センター こころの診療部

電話・FAX 03-3417-6530

メール kokoro@ncchd.go.jp

HP <http://www.ncchd.go.jp/kokoro>

中央拠点病院の役割 - 実施内容 -

⑤ 基盤的研究の実施、

各拠点病院における調査結果の高度な研究・解析

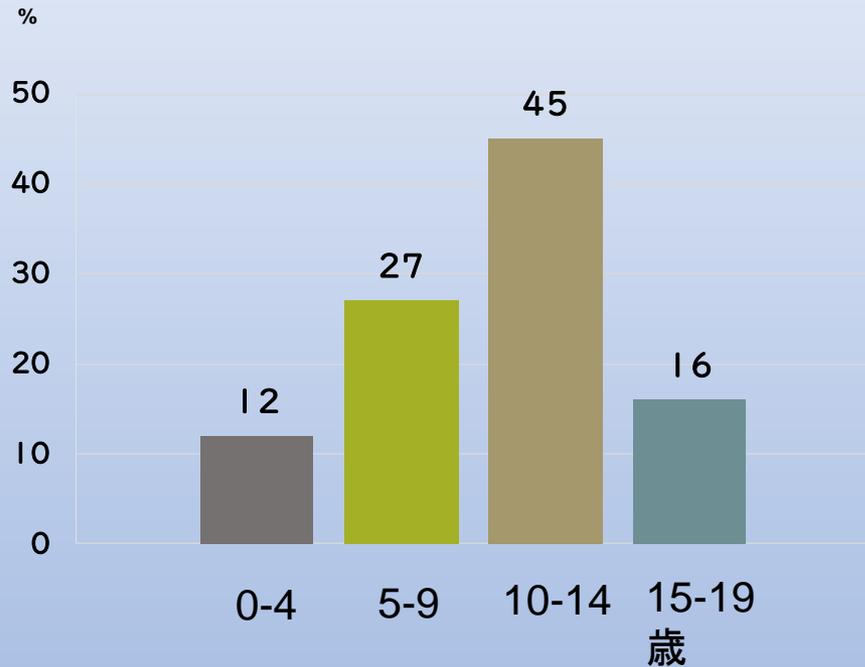
- ・子どもの心の診療拠点病院における診療とそのシステムの効果的あり方、および多職種人材育成に関する研究（平成23年度）
- ・被災後の子どもの心の支援に関する研究（平成25-27年度）
- ・各拠点病院へ指標調査の実施（平成23年度～）
- ・発達障害初診待機期間と診断書を目的とする受診の実態調査

⑥ 国内外の最新の医学的知見の収集、情報発信

- ・精神障害の標準的な基準の改訂時（DSM-5）に研修会を実施
- ・昨年度まで月1回程度メーリングにて情報配信

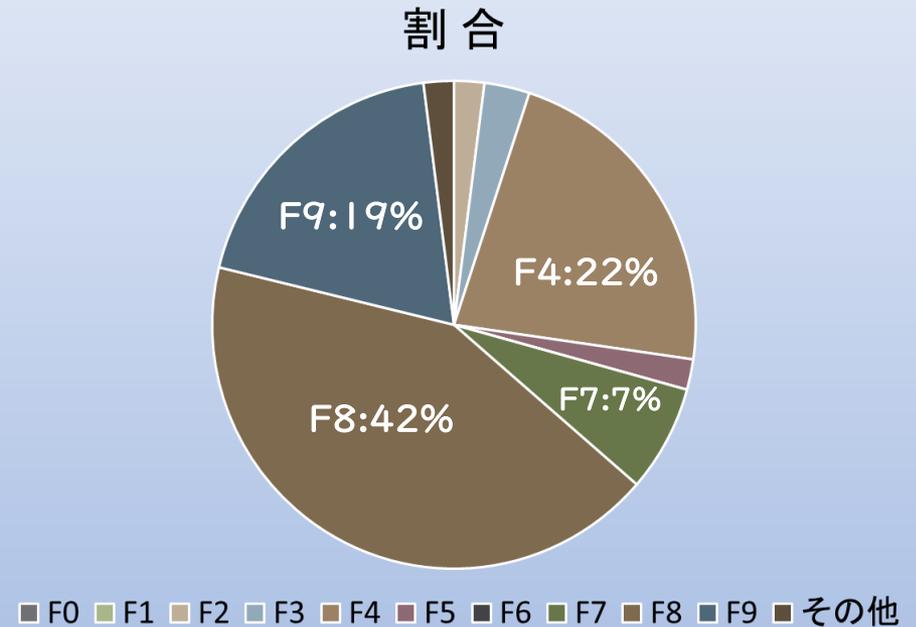
子どもの心の診療の実態

Q1.初診の年齢は?



平均初診年齢 11歳±4.4
男:女 = 6:4

Q2.診ている疾患は?



F8:心理発達の障害
F4:神経症・ストレス・身体表現性障害
F9:情緒および行動の障害
F7:知的障害

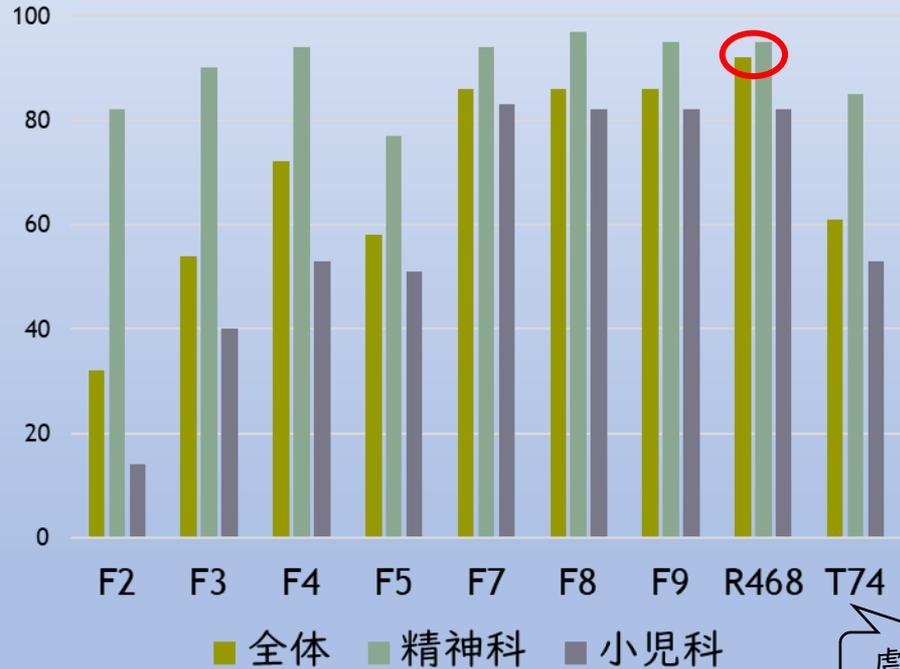
計90%

子どもの心の診療の実態

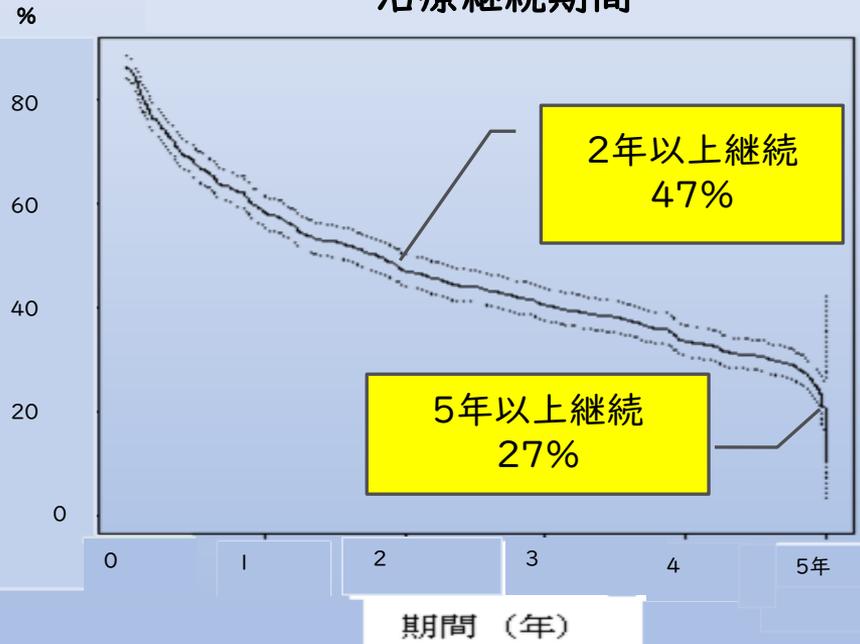
Q3. 診療の対象としている疾患は？

Q4. 診療の継続期間は？

診療対象疾患



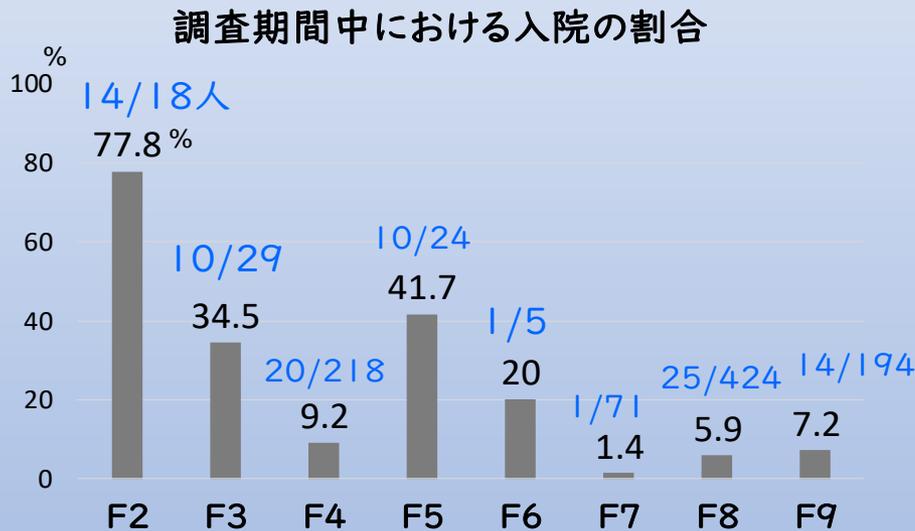
治療継続期間



R468: 不登校がもっとも多い

子どもの心の診療の実態

Q5.入院が多い疾患は？



F2:統合失調症
F5:摂食障害
F3:気分障害

入院割合が高い

Q6.他の機関との連携は？

連携先	連携の割合
教育機関	46%
福祉機関	44
保健機関	5
他の医療機関	22
司法	1
その他	6

教育、福祉との連携が多い



[TOP](#) > [一般の方へ](#)

目次

[▶ TOP](#)

[▶ 事業について](#)

[▶ 一般の方へ](#)

[▶ 子どものみなさんへ](#)

[▶ 医療関係者・支援者の
方へ](#)

[▶ 災害と子どもの心](#)

一般の方へ

▶ よくある子どもの心のQ&A

子育てや子どもの心の悩みについて、代表的なものをとりあげてみました。

▶ 子どもの心の診療に関する用語集

子どもの心の診療でよく使われる専門的な言葉を、わかりやすく解説しました。

▶ 子どもの心のガイドブック

準備中です。

▶ お役立ちリンク集

子どもの心の悩みについての相談先リストや、子どもの心についてまとめているサイトなどを紹介しています。

[ページトップへ](#)

子どもの心の診療ネットワーク事業 中央拠点病院
〒157-8535
東京都世田谷区大蔵2-10-1
国立成育医療研究センター こころの診療部内

Mail: kokoro☆ncchd.go.jp
※上記の「☆」記号を「@」記号に置き換えて下さい

子どもの心の診療ネットワーク事業【拡充】

R5 概算要求額：1.4億円（1.2億円）
【平成20年度創設】

目的

- 様々な子どもの心の問題、被虐待児の心のケアや発達障害に対応するため、都道府県及び指定都市における拠点病院を中核とし、各医療機関や保健福祉関係機関等と連携した支援体制の構築を図るとともに災害時の子どもの心の支援体制を構築することを目的とする。

内容

- (1) 子どもの心の診療支援（連携）事業
様々な子どもの心の問題、被虐待児や発達障害の症例に対する医学的支援、関係機関への専門家の派遣等を実施。
- (2) 子どもの心の診療関係者研修・育成事業
医師、関係専門職の現地研修等、子どもの心の診療に専門的に携わる医師及び関係専門職の育成、地域の医療機関職員、保健福祉機関職員に対する講習会を実施。
- (3) 普及啓発・情報提供事業
子どもの心の診療等に関する普及啓発・情報提供を実施。

<事業イメージ>



実施主体・補助率等

- ◆ 実施主体：都道府県、指定都市
- ◆ 補助率：国1/2、都道府県・指定都市1/2
- ◆ 補助単価案：月額 1,458,000円

学校等との連携強化を図るための加算を創設
【拡充】 学校等連携業務加算 月額 365,000円

事業実績

- ◆ 実施自治体数：20自治体（21自治体）
- ※ 岩手県、千葉県、東京都、石川県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、沖縄県、札幌市
- ※ 令和3年度変更交付決定ベース
括弧は令和2年度変更交付決定ベース